

センターだより

第66号

令和4年4月28日 発行

Aomori Prefectural School Education Center
青森県総合学校教育センター

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2
☎017-764-1997 FAX017-728-6351

所長あいさつ

所長 成田 弘行

日頃より当センターの事業に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この4月より赴任して参りました所長の成田です。どうぞよろしくお願いいたします。

当センターは開所から今年で25年目を迎え、研修・研究・教育相談・情報提供を主な業務としております。今年度の研修に関しましては、「“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上を目指した研修講座」をテーマとし、特にGIGAスクール構想の実現と学校における働き方改革の推進を踏まえたICTの活用についての提供をします。これまでも教育の情報化は社会的背景の変化により推進されてきたところですが、昨今のコロナ禍によりその果たす役割はますます大きなものとなりました。児童生徒に対する情報活用能力の育成及びプログラミング教育の推進を念頭におきながら、教科等の指導においては児童生徒一人一台の端末機器や高速大容量通信ネットワークを使った効果的な授業が実践され、加えて教員の働き方改革の一助となるべく校務の情報化の推進がなされるよう研修講座を充実して参ります。昨年度は、県による新型コロナウイルス感染症対策期間中の集合型研修は取り止め、オンライン講義やWebによる資料提供を行い、受講者が学校等においてリモートで受講できるような体制をつくるなど通所に負担をかけない非集合型研修も行われ、研修機会を確保することができました。今年度も感染状況を見ながら同様の方式を準備します。

これらの目的を達成するためには、授業者である教員のICT活用指導力の向上が欠かせません。本県学校教育指導の方針と重点では「情報化に対応する教育の推進」が挙げられており、当センターでは昨年度より所員の研究テーマを「学校におけるICTの効果的な利活用」とし、各教科の単元計画例・学習指導案・デジタル教材の活用例及び教科外（特別活動・特別支援教育）指導のパッケージを作成しております。本研究は令和3～6年度までの4年間とし、1年目の成果はセンターWebにて配信しております。今後は、毎年11月に開催される「あおもり教育研究発表会」において随時研究成果を発表する予定です。

教育相談については、各市町村教育委員会、医療・福祉などの関係機関と連携し、学校・児童生徒・保護者からの悩みや相談を電話や来所面談にて対応しております。いじめや不登校、学習のつまずき、対人関係等、相談内容は多岐にわたっており、担当者（教育相談課、特別支援教育課）が親身となり一緒になって考えます。近年は不登校に関する相談ケースが多く、学校現場においても対応に苦慮する中、対象児童生徒の社会的自立を目指した支援を行っています。

情報提供に関しては、学校教育に関する図書、視聴覚資料、その他必要な資料等を収集・整理しており、新課程用の各社教科書も閲覧できます。また、広報活動としてセンターWebからの情報発信を中心にメーリングリスト等も利用しながら開講済研修講座の様子、教育情報の提供、各種リーフレットや刊行物の発信等も行っておりますので御活用ください。

教育は不易と流行と言われますが、当センターは児童生徒の知・徳・体をバランスよく育むことを基本とし、時代の変化とともにつねに新しい教育手法を加えながら、今後も子どもたちの未来を創るために学校を支援し続けます。

センター事業（研修、研究、教育相談）の紹介

「“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上」を目指して

研修

職務研修、教科研修、教科外研修講座等、多数の研修講座を開催します。タブレットPCを扱う講座、オンラインによる講座、聴講可能な講座等もあります。

研究

研究員研究、センター研究など、実践的・先導的な研究をし、学校現場へ還元します。また、これらの成果を「あおもり教育研究発表会」や当センターWebページ等で発表及び提供します。

教育相談

いじめや不登校に関すること、学習のつまずきや遅れに関すること等、本人・保護者・教職員どなたでも相談できます。

詳細は、本だよりを御覧ください。



研修講座について

テーマ「“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上」を目指し、次のように研修講座を開催します。

- 1 講座の目標を明確にし、演習、協議等を重視した主体的に参加できる研修を提供します。
- 2 GIGAスクール構想の実現及び学校における働き方改革の推進を踏まえ、ICTを活用した研修を提供します。
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指した内容を提供します。
- 4 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。



「令和4年度研修講座案内」の表紙のイラストです。（当センターWebページに掲載）

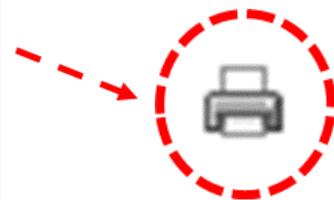
中央で育つ花は子どもたち、花が育つ場は学校です。それらを取り囲む教師集団は、互いに連携・協働しながら教育活動に取り組んでいます。また、暖かな色合いで学校を包み込んでいるのは県総合学校教育センター等の関係機関や家庭・地域社会で、教育活動を支える様子を表しています。

舞い上がる花の色は、学校教育全体を通して育成される新しい時代に求められる資質・能力を表し、舞い上がる花は、子どもたちが自立し、社会参加へ向かう様子を表しています。

これまでは申し込むと「申込み完了メール」が届いていたのに、今年度は届かないのですが、何が原因ですか？

令和4年度より「申込み完了メール」は、返信されません。 ボタンのクリック後に表示される【申込み完了通知】画面を確認し、印刷する場合は右上のプリンタアイコンをクリックしてください。

C25 感性を育む音楽科実践講座		編集
【申込み完了通知】		
この画面をもって申込み手続きは完了となります。		
【申込み完了通知】画面を印刷する場合は、右上のプリンタアイコンをクリックしてください。		
受付ID	25345	
所属所名	青森県立総合高等学校	
職名	教諭	
職員番号	123456	
氏名(漢字)	大矢沢 あきこ	
ふりがな	おおやさわ あきこ	
所属代表メールアドレス	sogo@edu-c.pref.aomori.jp	
個人メールアドレス	ooyasawa-akiko@edu-c.aomori.jp	
受講における合理的な配慮	希望しない	
希望する内容		
所属長の許可確認	承認済み	
<input type="button" value="一覧に戻る"/>		



研修講座の申込み・内容に関するQ & Aについては、当センターWebページ「令和4年度 研修講座案内（PDF版）」を御覧ください。

令和4年度 センターセミナーの紹介

センターセミナーⅠ

不登校児童生徒への支援

講師：FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 氏

7/30(土)

時間：9:30～15:30

場所：青森県総合学校教育センター



不登校対応の第一人者である花輪敏男氏を講師にお迎えし、これまでの経験を踏まえ教師や家族の具体的な対応をまとめた「FR式不登校対応チャート」を中心に、御講演をしていただきます。不登校・不登校傾向でお悩みの保護者の方や不登校対応に関心のある方の御参加をお待ちしております。

申込期間：5月9日(月)～7月15日(金)

下記のURLまたは右の二次元コードよりお申し込みください。

<https://onl.sc/qiHswK2>

【担当課】教育相談課 TEL:017-764-1990



センターセミナーⅡ

子どもと教師の未来を拓く総合戦略

講師：甲南女子大学 教授 村川 雅弘 氏

8/20(土)

時間：9:30～12:00

場所：青森県総合学校教育センター



全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、どのように授業改善をしたらよいのでしょうか。子ども一人一人の資質・能力の育成に向けて、子どもが主体的に学ぶための方策、カリキュラム・マネジメントなどの具体について、村川先生の御講演を通して、ともに学びませんか。

申込期間：5月9日(月)～8月5日(金)

当センターWebページ、FAX、またはお電話にてお申し込みください。

【担当課】義務教育課 TEL:017-764-1996 FAX:017-728-6351

校内研修等講師派遣事業、教科指導等サポート事業の紹介

校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援する事業です。

以下のテーマからお選びください。

学習指導

- 授業力向上と授業改善
- 授業におけるICT活用
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 学習状況調査の活用方法

特別支援教育

- 特別な配慮を必要とする児童生徒への支援
- 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成
- 障害特性に応じた指導

生徒指導・教育相談

- 児童生徒理解のための調査法の活用（「アセス」や「Q-U」の理解と活用）
- 人間関係づくり（グループアプローチ中心に）
- 面接相談の進め方（教育カウンセリングの基本）
- ストレスマネジメント
- いじめへの対応
- 不登校への対応
- 保護者への対応
- 情報モラルの指導
- SOSの出し方教育

- ✓ 児童生徒や保護者は対象ではありません。教員が対象です。
- ✓ 研修時間は原則として、以下の通りです。
「学習指導」、「特別支援教育」：60分～90分程度
「生徒指導・教育相談」：90分～120分程度
- ✓ 複数校の合同研修も校内研修として対応します。代表校がお申込みください。
今年度から実施形態を「対面」または「オンライン」から選択できます。
研修実施報告書はWebアンケートから提出・回答していただきます。

教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートする事業です。

センターWebページ

- ⇒「学校サポート」
- ⇒「教科指導等サポート事業」
- ⇒「質問入力フォーム」



上記の流れで質問を入力していただきますと、1～2週間程度で、担当の指導主事が電話、電子メール、オンライン等で回答します。

サポート内容は以下の通りです。

教科	教科・科目等の指導方法など
教科外	総合的な学習（探究）の時間、特別活動、キャリア活動、自立活動等進め方や指導方法など

- ✓ 県内の公立小・中学校、県立学校の教員が対象です。
- ✓ 内容によっては対応できない場合もあります。予め御了承ください。

希望によっては「オンライン」で回答します。
資料を共有しながら、情報提供することが可能です。

どちらも、センターWebページ（学校サポート）から、申込むことができます。

<http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

図書資料室の紹介について

県内の教職員や当センター研修講座の受講者を対象に、図書の貸し出しを行っております。

貸出期間：2週間以内 貸出冊数：5冊まで

昨年度は、のべ1,055件でした。7月末から8月上旬にかけて、1回目の新着図書の御案内をさせていただく予定です。今年度も多くの皆様に御利用いただけるように準備しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

図書資料室内の様子

新着図書ブース

貸出システム



蔵書検索サービス



当センターWebページへアクセス



http://www.edu-c.pref.aomori.jp/?page_id=156

御使用しているPC、スマートフォンからアクセスすることが可能です。お気軽に検索していただき、気になる図書資料があれば、ぜひ当センター図書資料室までお越しください。

教育相談について

当センターでは、友人関係やいじめ、家庭の問題、子どもの教育全般に悩んでいる保護者、教職員または子ども本人を対象に、教育相談を行っています。

まずは、電話で御相談



相談内容の確認、相談方法・日程の調整をします。子ども本人、保護者、教職員の皆様の御相談に応じます。電話のみの御相談にも応じます。まずはお電話を！

相談申込、お問い合わせ

☎ 017-728-5575（教育相談課）
☎ 017-764-1991（特別支援教育課）
実施時間 9:00～17:00

（土日、祝日、年末年始は除く）

※月に1回土曜日に相談を行っています。

詳しい開催日については、センターWebページで御確認ください。



お子様の健やかな成長を願って
私たちと一緒に考えましょう